

## 〔札幌開催〕 中小企業経営者セミナー

【主催】東京中小企業投資育成㈱ 【共催】日本政策金融公庫 札幌支店

「劇団四季」元主演が伝授！

# 感動を生み出す組織の人材育成術



年間300万人の観客動員、年間3000回の講演を行う劇団四季。創業60年で世界トップクラスの商業演劇集団になった劇団四季には、人を採用し、トップレベルに育てあげる「人材育成」の手法がありました。そこには、一般企業でも共通して活用できる「理念を浸透させる」「言葉の意識を高める」「チームワークをつくる」「役割を明確にする」「完璧な型を厳守させる」といった数々の施策が緻密に組み込まれていたのです。

本セミナーでは、劇団四季で主演経験があり創業者・故浅利慶太氏から直接指導を受けた佐藤政樹氏より、「感動を生み出す組織の人材育成術」を伝授していただきます。

経営者、経営幹部の皆様、ぜひご参加ください。

記

【日 時】 2019年7月2日（火）15：00～17：00（受付開始14：30）

【講 師】 人材育成トレーナー 佐藤政樹氏（「劇団四季」元主演）

### ＜プロフィール＞

明治大学工学部卒。「劇団四季」と「気象予報士」のダブル合格を28歳で果たす。

「劇団四季」では『ライオンキング』『ハムレット』等への出演を経て、入団8年目、『人間になりたがった猫』で主演のライオネル役を務めた際に、世界トップクラスの演出家、脚本家、俳優から「伝わる」ための技術を直接学ぶ。

その後、退団し教育家になることを志し、講演会を全国で開催。就職した企業で「トップクラスの伝わる技術」を活用することで、500名近くいる社員のなかで「多大なる貢献をした社員・2位」を獲得し退職。これらの経験を活かした講座「感動を創造する言葉の伝え方」が口コミで全国に拡がり経営者やセミナー講師、講演家など人前で話すプロに好評を博す。2016年3月にはTEDx Meiji University に出場。現在は、企業研修や講演活動で全国を飛び回っている。

### ◆セミナー内容

1. 劇団四季で学んだチームワークの重要性
2. 「商品是人」…劇団四季がなぜ、売上200億になったのか？
3. 業界の常識をぶち壊した劇団四季・創業者の思い？
4. 劇団四季の成功の秘訣は人事にあり
5. 劇団四季の驚異の人材育成法 ほか

# 感動を生み出す組織の人材育成術

【日時】 7月2日（火）15:00～17:00（受付14:30～）

【会場】 TKP ガーデンシティ札幌駅前 カンファレンスルーム2A  
（JR 函館本線札幌駅南口より徒歩5分）

札幌市中央区北2条西2丁目19番（アパホテル〈TKP 札幌駅前〉内）  
TEL 011-600-2609

【主催】 東京中小企業投資育成株式会社

【共催】 日本政策金融公庫 札幌支店

【定員】 70名様 【参加料】 無料

【問合せ】 東京中小企業投資育成(株) ビジネスサポート部 大村  
TEL 03-3499-0755 / FAX 03-3499-0819

【申込み〆切り】 7月1日（月） までに [http://www.sbic.co.jp/main/fronts/seminar\\_list](http://www.sbic.co.jp/main/fronts/seminar_list)  
からお申込みいただくか、以下の受講申込書にある必要項目を  
Eメール：[gyoshi-seminar@sbic.co.jp](mailto:gyoshi-seminar@sbic.co.jp)にてお送りください。  
なお、本受講申込書のFAXによるお申し込みもできます。

【受講票】 本セミナーは、**受講票等はありません。**

なお、受付開始時刻は、セミナー開始時刻の30分前からです。

以上

## 受講申込書

東京中小企業投資育成(株) ビジネスサポート部 大村 行  
F A X : 03-3499-0819 Eメール：[gyoshi-seminar@sbic.co.jp](mailto:gyoshi-seminar@sbic.co.jp)

貴社名		
ご参加者 役職名・氏名(複数のご参加も可能です)		
連絡先	TEL	FAX
	E-mail	
日本政策金融公庫からの融資について(どちらかに○をお書き下さい)		既融資先企業 ( ) 未融資先企業 ( )
投資育成からの投資について(どちらかに○をお書き下さい)		既投資先企業 ( ) 未投資先企業 ( )
ご記入いただきました個人情報は、各共催者が参加者名簿として、またセミナーの企画・運営・実施のために使用する他、関連するアフターサービス、必要な情報の提供及び各種ご案内のために使用します。なお、個人情報の共同利用等の詳細につきましては、東京中小企業投資育成株式会社のプライバシーポリシーをご参照ください。共同利用する個人データについては、各共催者がそれぞれ責任を持って管理いたします。		